

R 3 営繕 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三 防球ネット改修工事

図面目録			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A- 1	特記仕様書 (1)	A- 5	平面図 立面図
A- 2	特記仕様書 (2)	A- 6	立面詳細図
A- 3	特記仕様書 (3)	A- 7	(参考図) ネット取付詳細図
A- 4	付近見取図 配置図		

課 長	副 課 長	課長補佐	主査兼係長	係 長	課 員	担 当





項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																				
4. レディミクストコンクリート工場の指定	◎ 工事開始に先立ち、工場を選定し、監督職員の承諾を受ける。																								
5. 型 枠	◎ 型枠は、( 県産木製型枠 ・ <b>合板</b> ・ 金属製 ・ 樹脂系 ・ 打込み型枠 ・ ブロック )とする。 <table border="1" data-bbox="203 137 723 177"> <thead> <tr> <th>型枠の種類</th> <th>仕上げ種別</th> <th>変装の有無</th> <th>材質</th> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.8.2 (2) (イ)</td> <td>普通型枠</td> <td>なし</td> <td>-</td> <td>12</td> <td>基礎</td> </tr> </tbody> </table>	型枠の種類	仕上げ種別	変装の有無	材質	厚さ	適用箇所	6.8.2 (2) (イ)	普通型枠	なし	-	12	基礎												
型枠の種類	仕上げ種別	変装の有無	材質	厚さ	適用箇所																				
6.8.2 (2) (イ)	普通型枠	なし	-	12	基礎																				
§5章 改修その他の工事 1. 防球ネット工事	◎ 使用材料 ・コンクリートボールは、(一社)日本公園施設業協会会員企業製品、同協会団体賠償責任保険適用製品とする。 ・コンクリートボール <table border="1" data-bbox="203 261 723 331"> <thead> <tr> <th></th> <th>全長 (m)</th> <th>束口径 (mm)</th> <th>設計荷重 (KN)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A柱</td> <td>15.0 (地上11.0)</td> <td>400</td> <td>40.4</td> </tr> <tr> <td>B柱</td> <td>14.75 (地上11.0)</td> <td>300</td> <td>17.1</td> </tr> </tbody> </table> ・防球ネット (高強度高耐候ポリオレフィン) <table border="1" data-bbox="203 360 723 400"> <thead> <tr> <th></th> <th>目合 (mm)</th> <th>線径 (φ)</th> <th>より数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>40.0</td> <td>1.4</td> <td>660T/14本</td> </tr> </tbody> </table> ・メッセンジャーワイヤー 38mmφ、亜鉛メッキ付着量200g/㎡以上 (JIS G3537 1種A級) ・巻付グリッパ 38mmφ用、亜鉛メッキ付着量250g/㎡以上 (JIS G3506) ・ジョイントビーム 139.8φ×3.5t、亜鉛メッキ付着量 550g/㎡以上 (JIS H8641) ・ターンバックル・バンド 亜鉛メッキ付着量 350g/㎡以上 (JIS H8641) ◎ 金物類の亜鉛メッキ付着量の検査は、溶融亜鉛メッキ試験方法 (JIS H0401) による工場試験証明書とする。(標仕表14.2.2) ◎ 主柱の建て込み穴はオーガー掘削とする。 ◎ コンクリートボールは各社の仕様により構造計算を行い安全性を確認すること。 ・平均風速Vo=36m/s (建築基準法施行令第87条) ・粗度区分 3 (建築基準法施行令第87条) ・土室・・・軟弱土質 (C) (配電規定) ※ジョイントビームのある場合とない場合を検討する。 ◎ 各メーカーの仕様により、参考図及び設計図と異なる仕様の場合は、必要書類を提出して監督員の承諾を得ること。 ◎ 手動式ウィンチは、1,000kg、2,000kgキャブスタインとする。 ◎ 屋外体育施設の建設に精通した運動施設基幹技能士の資格を有する社員で、職長として現場管理のできる体育施設専門業者の責任施工によるものとする。		全長 (m)	束口径 (mm)	設計荷重 (KN)	A柱	15.0 (地上11.0)	400	40.4	B柱	14.75 (地上11.0)	300	17.1		目合 (mm)	線径 (φ)	より数		40.0	1.4	660T/14本				
	全長 (m)	束口径 (mm)	設計荷重 (KN)																						
A柱	15.0 (地上11.0)	400	40.4																						
B柱	14.75 (地上11.0)	300	17.1																						
	目合 (mm)	線径 (φ)	より数																						
	40.0	1.4	660T/14本																						

徳島県土整備部営繕課

工事名称 R3 営繕 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三 防球ネット改修工事

図面番号 A-3

**max** 株式会社 マックス設計  
Urban Consultant

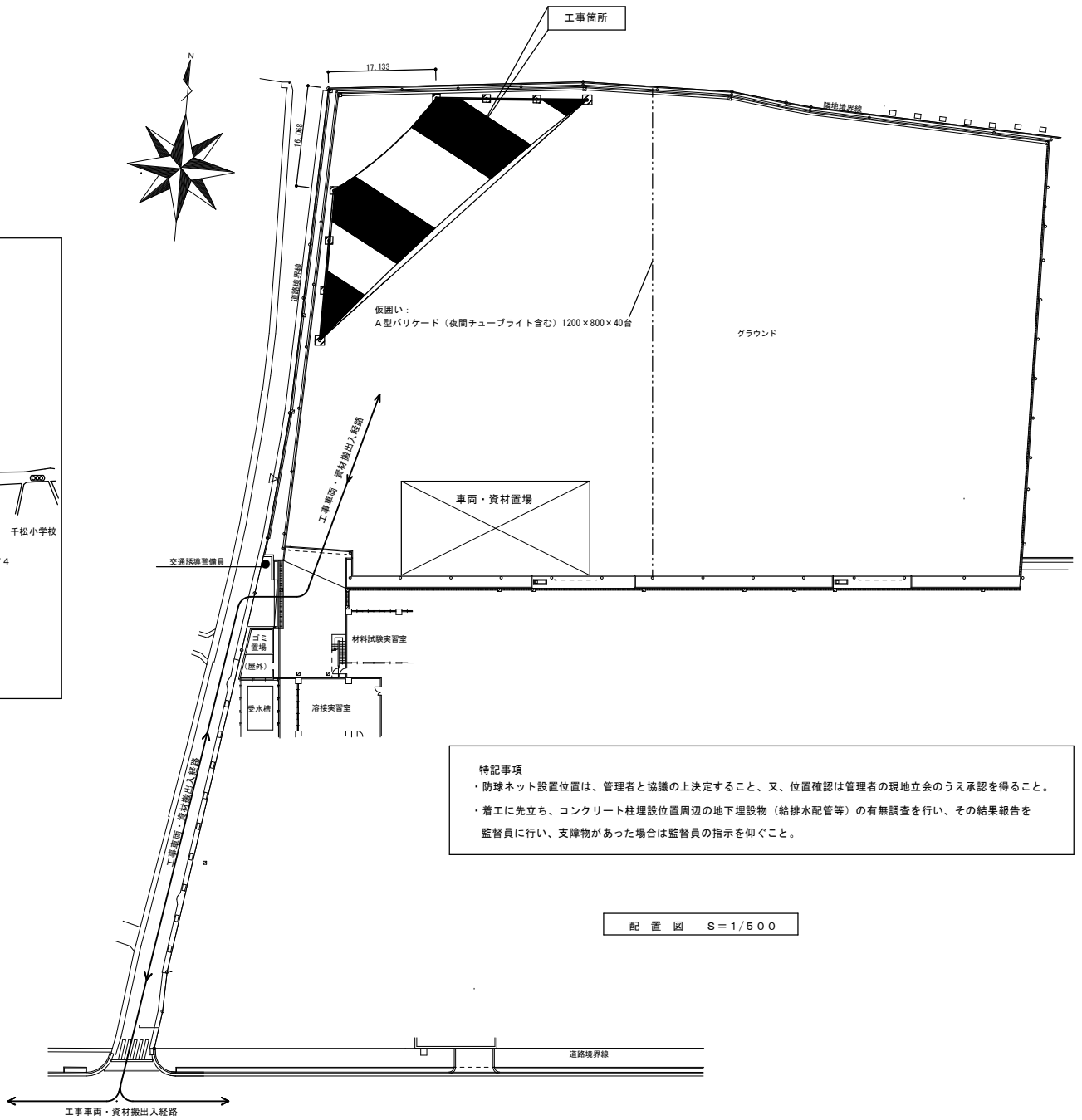
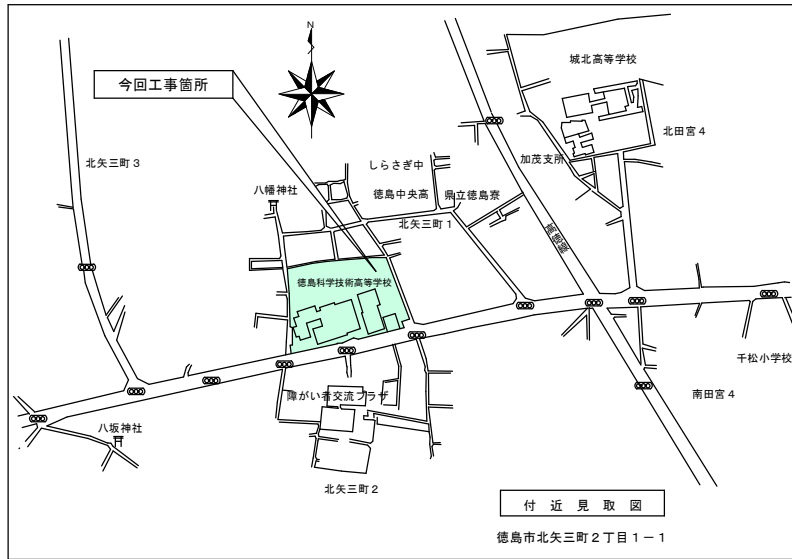
〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2

図名 特記仕様書 (3)

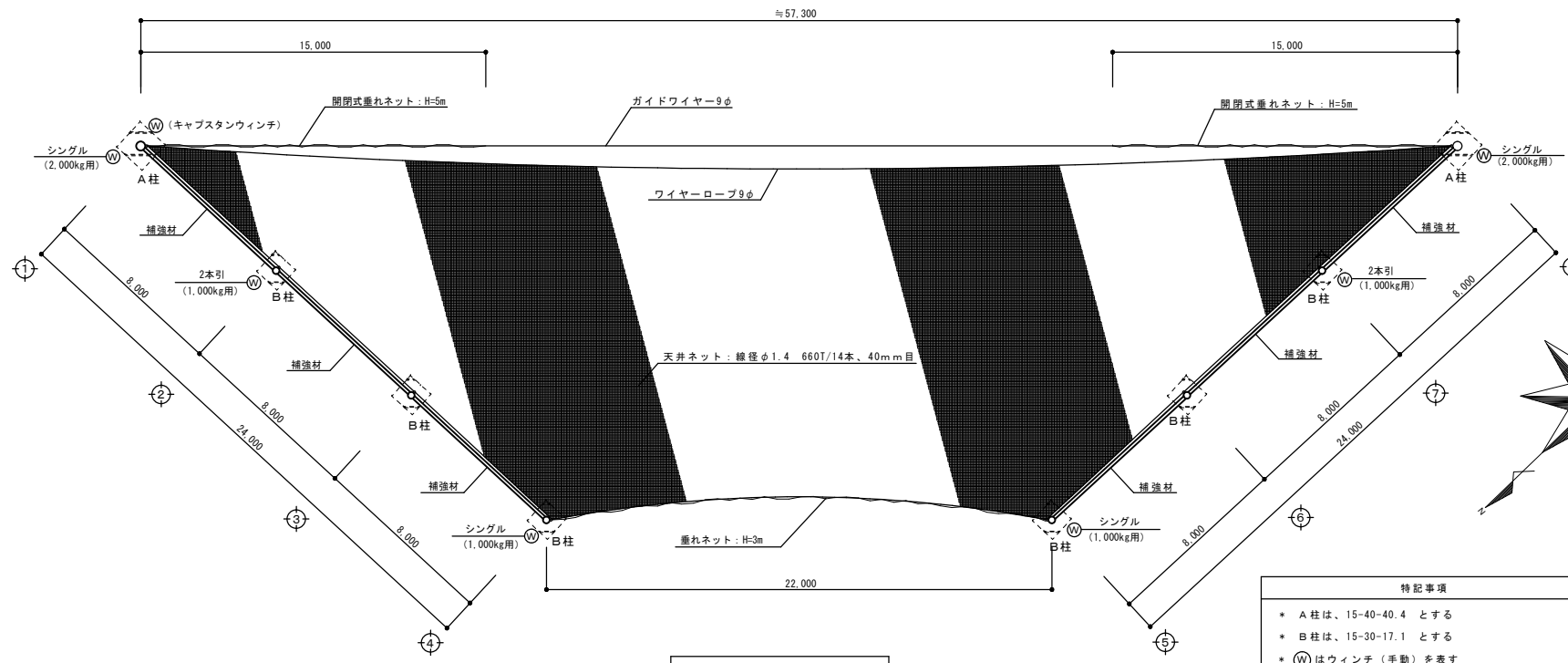
縮尺 A2  
A3

大臣登録 第302457号 知事登録 第61074号  
一級建築士 田 淵 宏 樹

TEL0883 (52) 0574 FAX (53) 9840

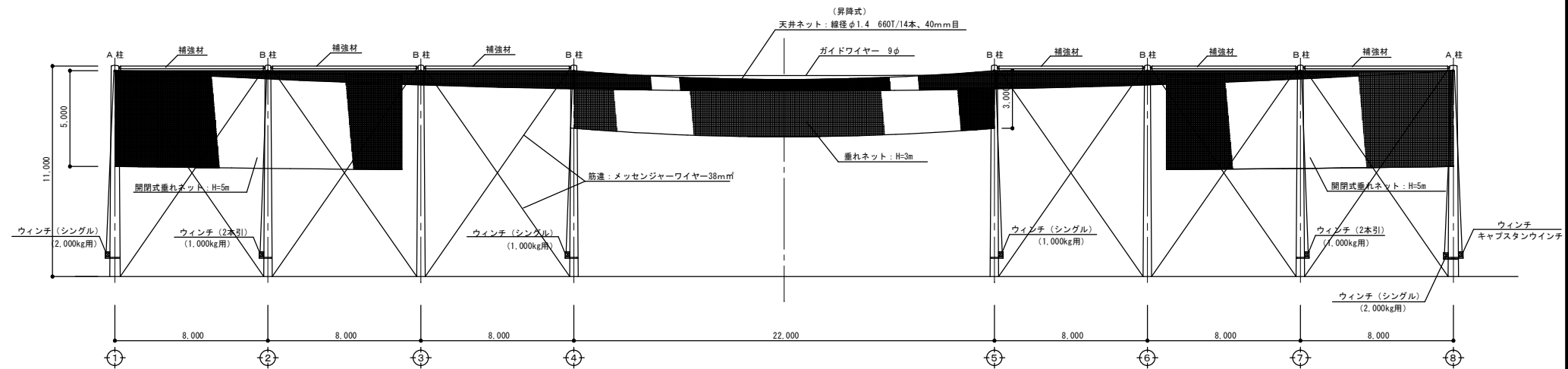


徳島県県土整備部営繕課	工事名称	R3営繕 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三 防球ネット改修工事	図面番号	A-4	<b>max</b> 株式会社 マックス設計 <small>Urban Consultant</small> 〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2 大匠登録 第302457号 知事登録 第61074号 一級建築士 田 淵 宏 樹 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840
	図名	付近見取図 配置図	縮尺	A2 1/500 A3 ≒1/714	



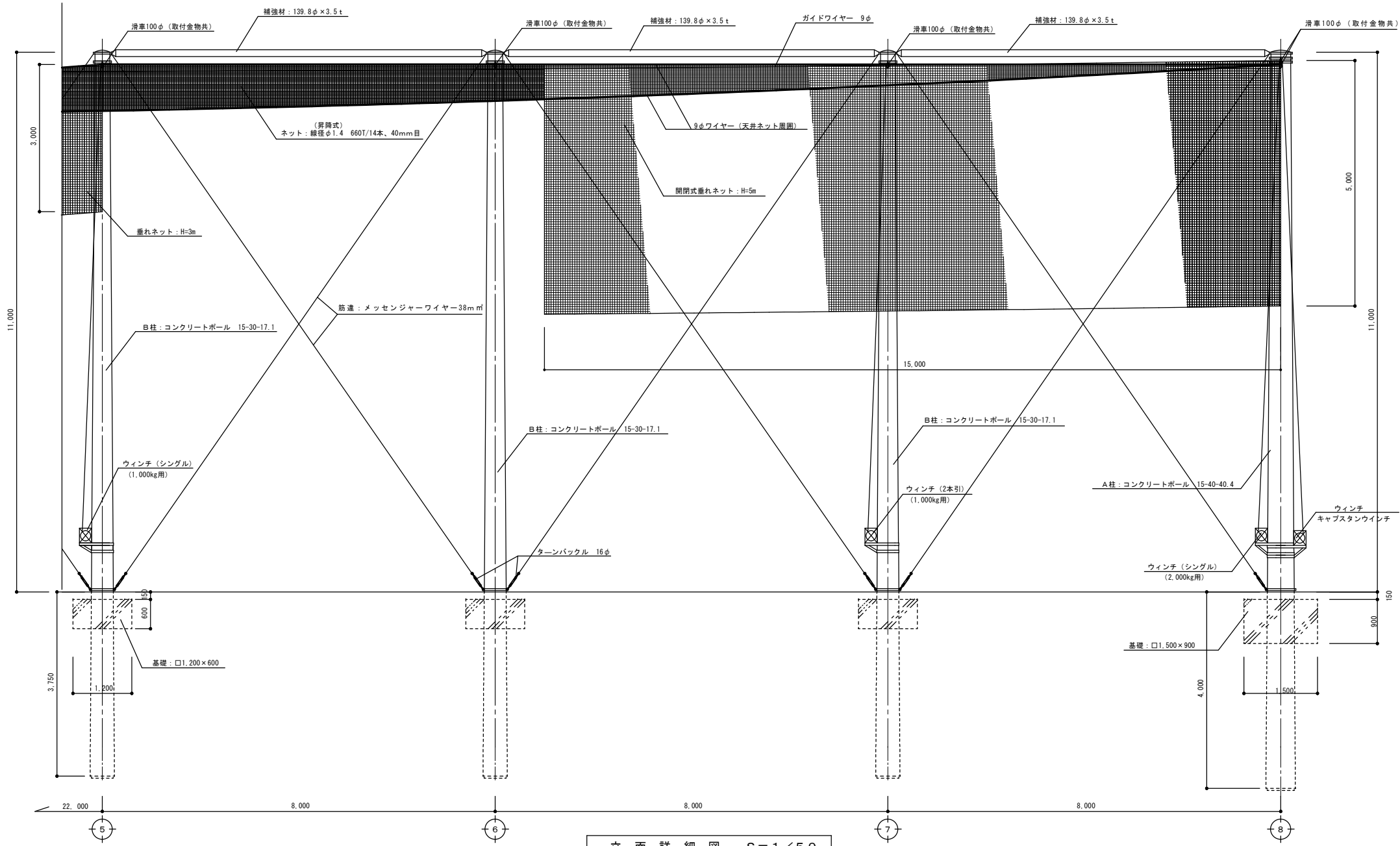
平面図 S=1/150

- 特記事項
- \* A柱は、15-40-40.4 とする
  - \* B柱は、15-30-17.1 とする
  - \* (W) はウィンチ（手動）を表す
  - \* 天井ネットは風速20m/s以上の時は地上へ降ろすこと



立面図 S=1/150

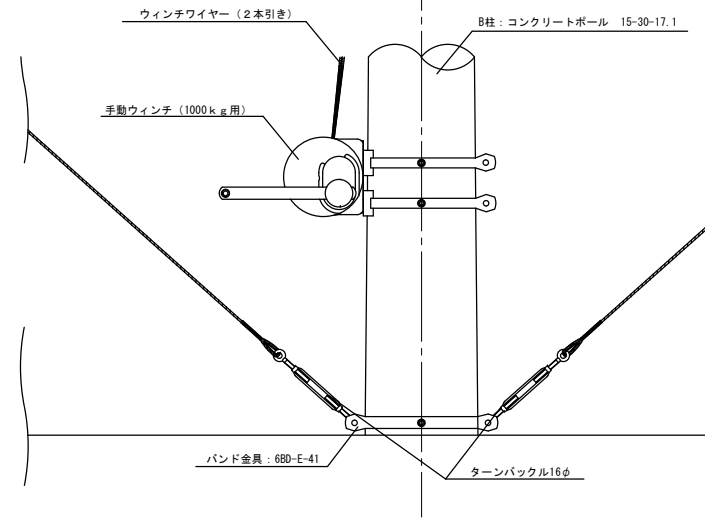
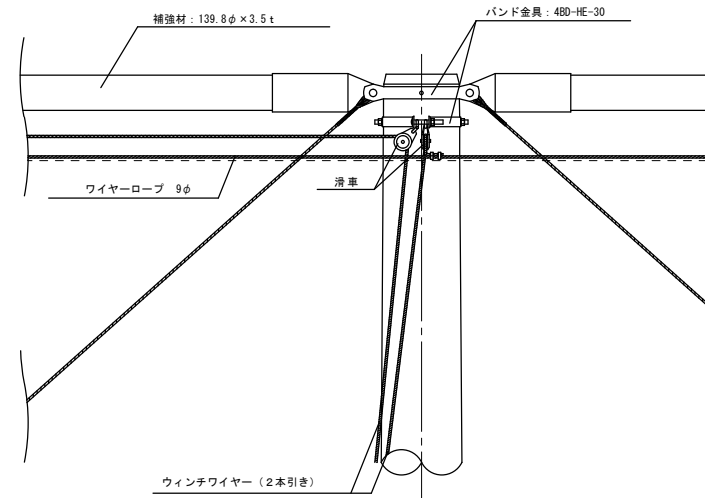
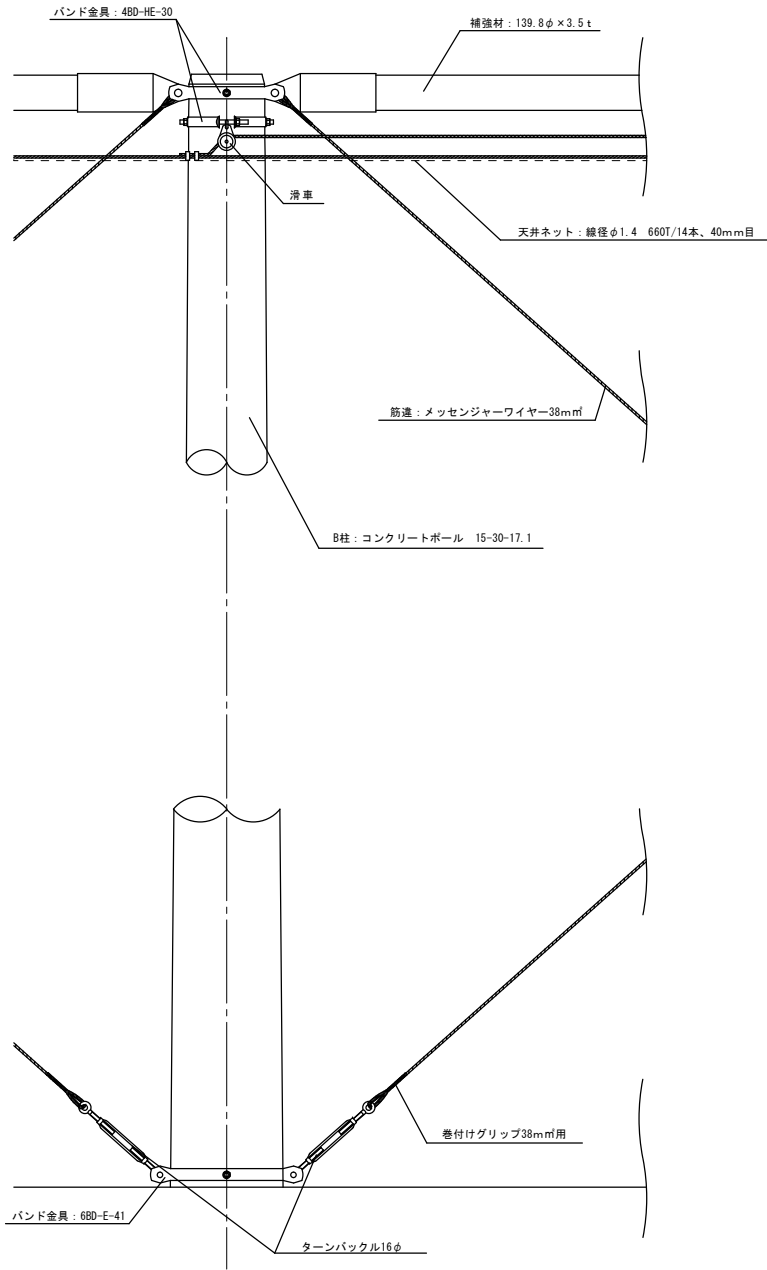
徳島県土整備部営繕課	工事名称	R3 営繕 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三 防球ネット改修工事	図面番号	A-5	<b>max</b> 株式会社 マックス設計 <small>Urban Consultant</small> 〒779-3610 徳島県美馬市麻町大字麻町705-2 大臣倉経 第302457号 知事登録 第61074号 一級建築士 田 淵 宏 樹 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840
	図名	平面図 立面図	縮尺	A2 1/150 A3 ≒1/214	



立面詳細図 S=1/50

徳島県土木整備部管轄課	工事名称 R3 常備 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三 防球ネット改修工事	図面番号 A-6	<b>max</b> 株式会社 マックス設計 〒779-3610 徳島県美馬市藤町大字扇町705-2 大臣登録 第302457号 知事登録 第61074号 一級建築士 田 淵 宏 樹 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840
	図名 立面詳細図	縮尺 A2 1/50 A3 1/71	

11,000



ネット取付詳細図 S=1/15

徳島県県土整備部営繕課	工事名称 R3 営繕 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三 防球ネット改修工事	図面番号 A-7	<b>max</b> <small>Urban Consultant</small> 株式会社 マックス設計 〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字屋町705-2 大臣登録 第302457号 知事登録 第61074号 一級建築士 田 淵 宏 樹 〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字屋町705-2 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840
	図名 (参考図) ネット取付詳細図	縮尺 A2 1/15 A3 1/21	